

タイトル	めざす15歳の子ども像を共有して～中条保小中一貫教育～
名称（学校・地域）	長野市 中条保育園・中条小学校・中条中学校
日時・場所等	通年
ホームページアドレス	http://www.nagano-ngn.ed.jp/nakajoih/

めざす15歳の子ども像を共有して～中条保小中連携型一貫教育～

知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健やかな体）

の三拍子が調和よく備わり、この郷土を愛する子ども

中条保小中一貫教育は平成21年10月から5ヶ月間の準備期間を経て、平成22年度にスタートしました。その必要性について、「H22年度中条保小中一貫教育のまとめ」の巻頭言に次のように書かれています。

保育園から中学校まで同じメンバーの子どもたちが学ぶのに、先生によって授業観や学力観があまりに違っていたり、教育方法の隔たりが大きかったりすれば、子どもや保護者は戸惑うばかりです。このような状況に鑑みて、先生が替わっても一定のレベルの教育が補償されるシステムとして、保小中一貫教育の必要性が生まれてきたのです。（H22年度中条保小中一貫教育プロジェクト会長 赤羽根直樹 中条中学校長）

このプロジェクトは毎年まとめや反省を経て、教育内容や活動を刷新したり、名称を変えたりする等の見直しや改善を繰り返してきました。平成30年度は①学力向上 ②地域・交流学习 ③健やかな心と体を育む ④保小連携 の4つのプロジェクトと「広報」（HP等による発信）に分かれて研究・実践を進めました。また、新たに信州大学教育学部准教授 安達仁美先生を講師としてお招きし、授業を見ていただいたり、合同職員研修会を行ったりしました。

【学力向上プロジェクト】

子ども達が「各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて学ぶ」ことに着目し、社会科を中心に授業を見合いながら授業改善に努めました。また、授業のユニバーサルデザインを進めるために「中条スタンダード」を整備したり、中学校教諭が小学生と授業を行う取り組みをより一層進めたりしました。



〈中学校の理科室で授業を受ける6年生〉

【地域・交流学习プロジェクト】

合同音楽集会を行ったり、各校や地域の行事に参加したりする中で、「ふるさとに思いを寄せ、交流を深める活動のあり方」について考えてきました。中条小中学生が作詞した「ふるさと中条」（作曲：なかにしあかね H23完成）は、集会や行事の度に大事に歌い継がれています。



〈長寿とクリスマスの集いで「ふるさと中条」を合唱する保小中の子どもたち〉

【健やかな心と身体を育むプロジェクト】

昨年までは生活や運動の習慣、食育を窓口として、子どもたちの健康な身体について考えてきました。今年はさらに心の成長にも目を向け、スクールカウンセラーによる授業を行ったり、「豊かな心を育てるための親子関係」をテーマとして保小中合同保健委員会を開催したりしました。保育園では絵本の読み聞かせを進めました。



〈SCによる心の授業〉

【保小連携プロジェクト】

生活科や行事、運動遊びプログラムを通じた体育や音楽などの授業において、年長児と小学校1年生の交流を進めながら、「育ちの連続性を願う保小連携や交流のあり方」について考え



〈保育園で一緒にこいのぼりを作る1年生と年長児〉